

ご一緒にします、いい人生



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 伏見 有貴
問合せ先責任者(役職名) 専務執行役員 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けIR電話会議)
(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	168,819	△14.6	19,862	△23.0	19,768	△23.7	13,544	△25.1
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		13,388百万円(△16.6%)	2025年3月期第3四半期		16,058百万円(21.5%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	63.87	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行いました。1株当たり当期純利益の計算においては2025年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した上で算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	545,288	157,093	27.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 150,539百万円 2025年3月期 144,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	27.00	—	35.00	62.00
2026年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前期2025年3月期の配当金は株式分割前の金額であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	217,041,598株	2025年3月期	217,041,598株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,701,305株	2025年3月期	5,220,356株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	212,075,338株	2025年3月期3Q	211,482,138株

(注)当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2025年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式総数(普通株式)を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ（投資家情報-I R資料）に「決算説明資料」を掲載いたします。（<https://www.resorttrust.co.jp/ir/>）

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①当第3四半期連結累計期間の概況

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売 上 高	197,684百万円	168,819百万円	△14.6%
営 業 利 益	25,786百万円	19,862百万円	△23.0%
経 常 利 益	25,925百万円	19,768百万円	△23.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18,083百万円	13,544百万円	△25.1%
↓ 会員制ホテルの新規開業影響を除く、実力ベースの評価利益			
(参考) 評価 営業利益	23,327百万円	29,393百万円	+26.0%

[前年同期比]

前年同期（2024年4月～12月）には、「サンクチュアリコート琵琶湖」が2024年10月に開業を迎え、それまで繰延べてきた不動産収益を一括で収益認識したのに対し、当期間（2025年4月～12月）には、ホテルの新規開業が無く（次の第4四半期に「サンクチュアリコート日光」が開業予定）会計上の損益としては「減収減益」であります、ホテルの開業有無の影響を除いた実力ベースである「評価営業利益」では、+26.0%と増益でした。

前年同期は、会員権事業において、再販商品を含むベイコートシリーズなど既存ホテル会員権販売や開業を迎えた「サンクチュアリコート琵琶湖」、更には未開業ホテルの「サンクチュアリコート日光」に加え、2024年8月にサンクチュアリコートシリーズ第4弾となる「サンクチュアリコート八ヶ岳」を発売開始したこと、会員募集が好調に推移したのに対し、当期間では、2025年3月から販売を開始している「サンクチュアリコート金沢」に加え、2025年6月には「サンクチュアリコート淡路島」の会員募集を開始したこともあり、未開業ホテルの契約が中心となりましたが、前年同期を上回る非常に好調な契約実績であったこと、メディカル事業において、ハイメディック会員の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、ホテルレストラン等事業において、新規開業したホテルの収益貢献に加え、運営管理費（年会費）や利用料（室料）などの価格改定などにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人件費の増加などによるコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、評価ベースでは、「増収増益」となりました。一方で、会計上の損益については、前年同期にホテルの開業があったのに対し、当期間には新規開業が無いため「減収減益」となっております。通期での「増収増益」の予想に変更はありません。

（参考）「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。）

[全体概況]

当第3四半期連結累計期間における、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ベースアップや事業拡大に備えた採用強化を継続実施しました。これらの先行的なコストの増加は、一部の商品（会員権、運営管理費、室料、食事代金等）の価格を見直すことや、DX経営の推進、人的資本経営の推進による「生産性の向上」により賄ってまいります。会員募集については、好調が継続しており、ホテル会員数、メディカル会員数の増加に伴う増収や2024年10月に開業した「サンクチュアリコート琵琶湖」の稼働が増収に寄与しておりますが、その一方で、未開業ホテルの不動産収益は開業まで繰延べられること、また、前年同期にホテルの開業があったのに対し、当期間には新規開業が無いため会計上の損益は「減収減益」となりましたが、評価ベースでは、「増収増益」と非常に順調であると評価しております。また、通期においては、増収増益を見込む業績予想に変更はございません。

この結果として、売上高は168,819百万円（前年同期比14.6%減）、営業利益は19,862百万円（前年同期比23.0%減）、経常利益は19,768百万円（前年同期比23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,544百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	80,689百万円	42,176百万円	△47.7%
セグメント利益	23,654百万円	14,178百万円	△40.1%

会員権事業におきましては、2025年3月から販売を開始している「サンクチュアリコート金沢」に加え、2025年6月には「サンクチュアリコート淡路島」の会員募集を開始し、会員権販売が好調に推移した一方で、前年同期には既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まっていたことに比べ、当期は不動産収益の大部分が繰延べられていること、また、前年同期にはホテルの開業があったのに対し当期間は新規開業がなかったことなどから、契約高は前年同期を上回りましたが、会計上の期間損益では減収減益となりました。なお、評価ベースでは、増収増益と実力ベースでは、過去最高を更新し続けております。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	78,446百万円	84,439百万円	+7.6%
セグメント利益	3,541百万円	6,400百万円	+80.7%

ホテルレストラン等事業におきましては、2024年10月に開業した「サンクチュアリコート琵琶湖」の稼働が増収に寄与したことに加え、運営管理費（年会費）や利用料（室料）などの価格改定などにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人件費の増加などによる先行的なコストアップを吸収し、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	38,025百万円	41,686百万円	+9.6%
セグメント利益	5,676百万円	6,047百万円	+6.5%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート俱楽部「グランドハイメディック俱楽部」の会員権募集が順調に推移し、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したこと、一般健診事業の設備の拡張や事業所の拡大などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	522百万円	516百万円	△1.2%
セグメント利益	604百万円	603百万円	△0.1%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は545,288百万円（前連結会計年度比10.6%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現預金が14,962百万円、会員権販売に伴うローン債権の増加により、割賦売掛金

が 15,599百万円、仕掛販売用不動産が 14,034百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は388,194百万円(前連結会計年度比13.4%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことにより、前受金が 34,558百万円、償却型長期預り保証金が 10,936百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は157,093百万円(前連結会計年度比4.2%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が 6,172百万円 増加したことなどによるものであります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は27.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。2025年11月13日付で開示した業績予想は以下の通りです。

2026年3月期 通期連結業績予想数値 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回予想)
売 上 高	249,333百万円	260,000百万円	+4.3%	259,000百万円
営 業 利 益	26,365百万円	29,000百万円	+10.0%	27,500百万円
経 常 利 益	26,848百万円	29,000百万円	+8.0%	27,500百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,139百万円	20,300百万円	+0.8%	19,000百万円
評価 営業利益	26,161百万円	33,010百万円	+26.2%	29,465百万円

当社グループは、新たに「2025年4月～2030年3月までの中期5ヵ年経営計画」を策定し、「新しい会員制事業モデルの確立」を目指しております。

当期の見通しについては、会員権事業において、2025年6月に新たに「サンクチュアリコート淡路島」の会員権販売を開始したほか、2026年2月（予定）に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート日光」が開業を迎えることで、それまで継続されている不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業、メディカル事業において、会員数、登録数、関係顧客の増加と、高付加価値な新サービスの開発と提供による単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高 260,000百万円（前年同期比 4.3%増）、営業利益 29,000百万円（同 10.0%増）、経常利益 29,000百万円（同 8.0%増）と過去最高の売上高と営業利益、経常利益を更新し、増収増益を見込んでおります。

また、当期においては、前期に計上がった債券の償還益など特別利益が剥落するため、親会社株主に帰属する当期純利益は、20,300百万円（同 0.8%増）とわずかな増益に留まることを見込んでおります。

なお、2025年11月13日付けで、会員権販売好調など直近の業績状況を鑑み、業績予想、配当予想を上方修正しておりますが、その上方修正した予想を上回る進展をしているものの、今回、通期予想の変更はありません。

配当金の予想については、中間配当金は17円、期末配当金は17円（予想）とし、年間配当金額は、分割前で比較しますと、前年同期に比べ実質6円増配の年間配当金68円（予想）となり、過去最高の配当金額となる見込みであります。（分割後の比較では 前年31円 当期34円（予想））なお、「DOE 4.5%を下限とし、DOE 5.0%を目標とする」配当方針に対しては、DOE 4.7%ほどの水準になる見通しであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,352	43,315
受取手形、売掛金及び契約資産	12,763	13,871
割賦売掛金	91,706	107,306
営業貸付金	15,184	11,165
有価証券	5,893	8,479
商品	1,334	1,502
販売用不動産	3,948	4,339
原材料及び貯蔵品	2,050	2,552
仕掛販売用不動産	25,699	39,734
リース投資資産	3,211	2,963
その他	7,119	7,418
貸倒引当金	△873	△944
流動資産合計	196,390	241,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	107,542	104,988
機械装置及び運搬具（純額）	2,533	2,394
コース勘定	7,712	7,912
土地	50,823	51,040
リース資産（純額）	4,495	4,384
使用権資産	12,698	11,785
建設仮勘定	14,066	20,691
その他（純額）	4,760	4,755
有形固定資産合計	204,633	207,952
無形固定資産		
のれん	526	202
ソフトウェア	3,333	3,068
その他	2,402	2,795
無形固定資産合計	6,261	6,066
投資その他の資産		
投資有価証券	33,818	37,095
関係会社株式	1,397	1,406
長期貸付金	4,537	4,309
退職給付に係る資産	1,452	1,399
繰延税金資産	21,363	20,694
その他	23,511	25,079
貸倒引当金	△418	△418
投資その他の資産合計	85,663	89,564
固定資産合計	296,558	303,584
資産合計	492,949	545,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,869	2,532
短期借入金	4,811	3,569
1年内返済予定の長期借入金	654	654
リース債務	1,514	1,441
未払金	12,903	18,937
未払法人税等	7,113	1,771
未払消費税等	2,892	3,012
前受金	107,225	141,783
前受収益	17,191	21,873
債務保証損失引当金	25	17
ポイント引当金	424	460
その他	13,377	10,301
流動負債合計	170,005	206,355
固定負債		
長期借入金	2,531	2,040
リース債務	23,994	22,901
繰延税金負債	76	70
役員退職慰労引当金	22	209
株式給付引当金	865	1,423
退職給付に係る負債	3,234	3,361
長期預り保証金	29,314	28,452
償却型長期預り保証金	106,681	117,618
その他	5,480	5,761
固定負債合計	172,201	181,838
負債合計	342,207	388,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,613	23,965
利益剰余金	98,359	104,532
自己株式	△4,919	△6,789
株主資本合計	134,644	141,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,489	3,707
為替換算調整勘定	6,055	4,654
退職給付に係る調整累計額	1,129	879
その他の包括利益累計額合計	9,674	9,240
非支配株主持分	6,424	6,554
純資産合計	150,742	157,093
負債純資産合計	492,949	545,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	197,684	168,819
売上原価	49,154	19,839
売上総利益	148,530	148,980
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	49,545	52,365
役員退職慰労引当金繰入額	21	28
修繕維持費	4,238	4,713
貸倒引当金繰入額	-	73
債務保証損失引当金繰入額	-	△7
水道光熱費	6,025	6,051
減価償却費	6,418	6,738
その他	56,494	59,152
販売費及び一般管理費合計	122,743	129,117
営業利益	25,786	19,862
営業外収益		
受取利息	564	675
受取配当金	59	75
持分法による投資利益	14	14
貸倒引当金戻入額	34	2
債務保証損失引当金戻入額	5	-
為替差益	8	5
助成金収入	137	17
その他	195	228
営業外収益合計	1,019	1,018
営業外費用		
支払利息及び社債利息	217	381
シンジケートローン手数料	36	35
控除対象外消費税等	367	456
その他	259	239
営業外費用合計	880	1,113
経常利益	25,925	19,768

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	26	353
関係会社株式売却益	1	4
投資有価証券売却益	2,245	48
有価証券償還益	1,094	516
その他	210	-
特別利益合計	3,577	922
特別損失		
固定資産売却損	9	3
固定資産除却損	43	38
減損損失	1,799	-
その他	8	0
特別損失合計	1,861	42
税金等調整前四半期純利益	27,641	20,648
法人税、住民税及び事業税	9,990	6,616
法人税等調整額	△676	209
法人税等合計	9,314	6,826
四半期純利益	18,327	13,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	244	277
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,083	13,544

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	18,327	13,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,164	1,218
為替換算調整勘定	23	△1,401
退職給付に係る調整額	△127	△250
その他の包括利益合計	△2,269	△433
四半期包括利益	16,058	13,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,813	13,111
非支配株主に係る四半期包括利益	244	277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	80,689	78,446	38,025	197,161	522	197,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△14	3,436	661	4,083	1,488	5,571
計	80,674	81,883	38,686	201,244	2,011	203,256
セグメント利益	23,654	3,541	5,676	32,872	604	33,477

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	32,872
「その他」の区分の利益	604
全社費用（注）	△7,691
四半期連結損益計算書の営業利益	25,786

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,176	84,439	41,686	168,302	516	168,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	3,779	872	4,713	1,404	6,118
計	42,239	88,219	42,558	173,016	1,920	174,937
セグメント利益	14,178	6,400	6,047	26,626	603	27,230

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 頓
報告セグメント計	26,626
「その他」の区分の利益	603
全社費用（注）	△7,367
四半期連結損益計算書の営業利益	19,862

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	7,112百万円	7,661百万円
のれん償却額	320百万円	323百万円